

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	はぐはぐ		
○保護者評価実施期間	7年 4月 1日		～ 8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	7年 4月 1日		～ 8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 2人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 4月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休暇の際には、色々な所に外出したり、体験できる行事を行っている。	保護者の負担が過度にならないように、社会見学や公的施設の利用を考慮しながら外出先を決めている。 集団行動が身に着くような取り組みを行っている。 夏季は近年酷暑が続いているので、室内で活動出来る外出先を選んでいる。	子どもたちの興味や関心の幅が広がるような外出先を検討する。 通所日数が多いご家庭は、経済的な負担が発生するので、工夫をさらに行う。
2	専門性の高い職員を配置している。	パソコンやプログラミングに興味がある児童が多く、知識のある職員を配置しており、児童のスキルアップに繋がっている。	より児童の興味・関心に寄り添い、特性に配慮しながら、児童の強みを伸ばしていけるように取り組んでいく。
3	職員の支援力を高めるための取り組みを行っている。	研修の機会の提供。 個別支援会議等を生かして、より深い知識が身に着くように取り組んでいる。	事例検討会などを取り入れ、職員が支援の方法について、考える力を養う。また、交代で内部講師をつとめ、専門的な知識を深める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画の面談・配布について、保護者の方と直接お会いできない事がある。	就労されているご家庭が増え、電話での面談を希望されるご家庭がある。面談の方が、色々な情報を共有でき、よりよい支援に繋がるとは思っているが、なかなか時間の調整が出来ない。	出来るだけ面談が望ましい旨をお伝えし、協力をお願いをする。 職員の勤務を考慮し、体制を整える。
2	送迎時の人員配置が手薄い事がある。	児童の送迎が重なり、中の支援が手薄い事がある。 募集等を行っているが、採用につながらない場合もある。	送迎担当の職員の配置や、職員の募集を行う。
3			